

## 行政サービス等の「値札」表示について

県では、対話と共感による県政を進めていくため、県の財源がどのように使われているのか、県民の皆さんに十分ご理解いただけるよう、県の行政サービスや事務・事業等（以下、「行政サービス等」といいます。）の内容や経費（コスト）などの情報をわかりやすい形でお示しします。

もとより、行政サービス等の中には、コストにかかわらず実施しなければならないものもありますが、選択と集中が求められる時代にあって、こうした情報を県民の皆さんと共有していくことが大切です。

また、「値札」の作成を通じて、職員もコストや費用対効果に対する意識をさらに高めていくことにより、一層効率的で効果的な事業執行に努めていきます。

平成20年度は、こうした取組を適切かつ円滑に推進していくため、県民の皆さんに関わるサービス等の中から、100事業程度を対象として試行を行います。

### 1 行政サービス等の「値札」とは

今回の取組では、行政サービス等の「内容」や「目的・効果」とともに、「コスト」に関する情報を単位当たりなどの形で分かりやすく一体的に表したものを、行政サービス等の「値札」と呼び、別添「値札様式」を基本に表示します。

#### 【特徴】

人件費等を含む総コストを様々な形で表示

行政サービス等を実施するためには、その企画立案や実施に職員が携わっているため、こうした職員の人件費のほか、過去に整備した施設等を使用している場合は、その単年度当たりの経費も含めた総コストを示すとともに、県民の皆さんにそのコストをできるだけ実感していただけるよう、サービス等の実績数量や対象数量などをもとにした単位当たりコストを併せて示します。

さらに、次のような情報も併せて示します。

- a) 受益者負担分    b) 一般財源分    c) 単年度当たりコスト(施設整備事業の場合)
- d) 負担割合(補助金事業の場合)    e) 総経費の内訳

サービス等の実施段階で表示

今回作成した「値札」は、県ホームページや県民情報室において一括表示しますが、今後、県民の皆さんの目に広く触れるよう、可能な限り、サービス等の実施に併せて、印刷物や看板などを利用して表示をしていきます。

## 2 取組の流れ

試行対象の選定（100事業程度）

予算額をもとに値札の作成

県ホームページ・県民情報室において一括表示

サービス等を実施する際に実績見込でコストの再算定

サービス等の実施にあわせて、配布物や看板等で表示（可能なもののみ）

（表示に当たっては、必要に応じて項目の取捨選択や内容の調整（指定管理者負担分を併せたコストの補足など）を行い、県民が容易に内容を把握できるよう、わかりやすく表記）

ホームページ・県民情報室の「値札」更新

## 3 「値札」の表示

県民の皆さんの日々の暮らしや生活に着目した「健康」、「安全・安心」、「つながる」、「学ぶ・育てる」といった分野のほか、社会全体に関わる「経済・産業」や「環境」、「県土」の分野、さらには、その他県政全体に関わる「総合」の各分野から、107事業について「値札」をお示しします。

<別添 行政サービス等の「値札」個表参照>

## 4 今後の取組

この試行を通じ、県民の皆さんからの意見も踏まえながら、対象や算定方法、情報提供方法、業務改革への活用等について検討し、必要な改善を加えていきます。